

【議案 6】 監査報告

2010 年(平成 22 年) 2 月 9 日

社団法人 計測自動制御学会

会長 原 辰次 殿

社団法人 計測自動制御学会

監事 永沼 充

監事 杉本 謙二

監事 宇佐美 照夫



監事監査報告

私たち監事は、2009 年(平成 21 年) 年 1 月 1 日から 2009 年(平成 21 年)12 月 31 日までの第 48 期会計年度における会計および業務の監査を行ったので、その結果を報告する。

1. 監査内容と結果

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類を閲覧し、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録について監査を行った。監査の結果、上記の計算書類は計測自動制御学会の収支と財産の状態を正しく示しているものと認める。
- (2) 業務監査について、理事会とその他の会議に出席して業務遂行の妥当性を検討し、業務報告の内容について監査を行った。検討の結果、業務遂行について法令と定款に違反する事実のないことを認める。監査の結果、業務報告書の内容は真実であることを認める。

2. 監査意見

- ・ 公益法人化については認可を得るべく最後の努力をお願いすると共に、認可後は真に公益法人として相応しい学会活動を推進すべく会員・事務局一丸となって取り組んで頂きたい。また、厳しい経済情勢ではあるが、50 周年記念事業の成功に向けて着々と進められていることは評価できる。今後は、次の 50 年を見据えて事業を具体化する努力を行っていただきたい。
- ・ IT・学会モデル委員会を核として学会モデルシステムの課題解決にさらに強力に取り組み早期の定常運用を実現するべく、引き続き努力をお願いしたい。また、ホームページ等の媒体をより積極的に利用した広報・学会運営に取り組んで頂きたい。
- ・ 経済情勢を考慮するとやむを得ない面もあるが、前年比倍近い会員数減少の事態を憂慮する。2009 年度から取り組んだシニア会員の優遇制度の効果を見極めると共に、学生会員の卒業後のフォローなど、きめ細かい対応を望みたい。